

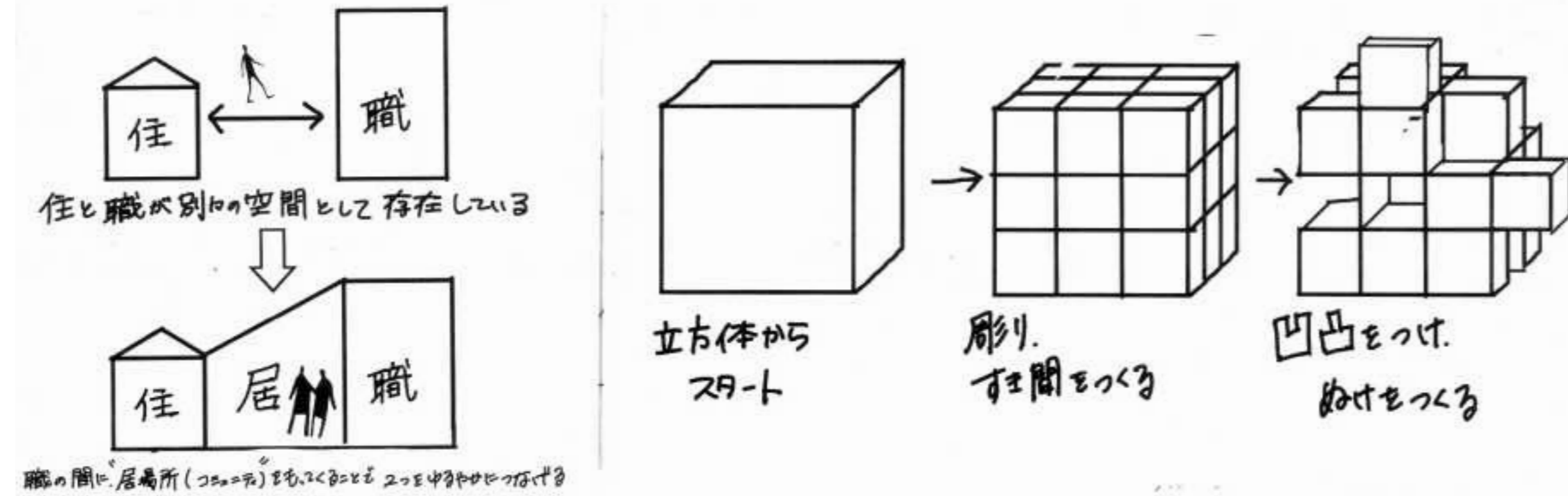
# イ・シヨク・ジュウ

2015049 藤田亮太郎

## 01 コンセプト

私たちの生活は衣食住によって成り立っている。しかし、衣食住を1人で全て行えるわけではない。ひととひと、まちとひと、必ずそこにはつながりが生まれる。住居と職場もそのつながりの例外ではない。本設計ではそのつながりを具象化するものとして居場所、コミュニティを二つの間において、つながりを持たせた。二つの間に居場所ができることによって、そこが創造の場となり、職場にも、まちにも、良い影響を与えるだろう。そんな新しい居職住の暮らしを提案する。

## 03 ダイアグラム



## 04 設計データ

外壁 ガリバリウム合板、木、石

内壁 ぬり壁(漆喰)

3階建て

鉄筋コンクリート造、木造

敷地面積 510 m<sup>2</sup>

各階面積

1F 45 m<sup>2</sup>    2F 78 m<sup>2</sup>    3F 30 m<sup>2</sup>

延べ床面積 153 m<sup>2</sup>

建築面積 214 m<sup>2</sup>

容積率 30%

建ぺい率 42%

## 02 家族構成

- ・父      ・母      ・子供
- ・祖父    ・祖母

父は木の彫刻家、祖父は石の彫刻家である。

2人は袋井市の彫刻のあるまちづくり計画にそって、日々彫刻づくりに励んでいる。

母は2階のカフェを経営している。

暇な時間帯は祖母と一緒に編み物をしている。

中学校に通う子供は毎日友達と元気よく遊んでいる。

